



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー第 2790 地区 第 8 グループ

創立 1957 年 3 月 23 日

銚子ロータリークラブ会報

第 3157 号 2022 年 3 月 9 日(水)発行

Rotary



例会場 銚子商工会館 5 階大会議室 (銚子市三軒町 19-4)

TEL0479-23-0750 FAX0479-25-8789

Email d2790@choshi-rotary.club HP <https://www.choshi-rotary.club>

◇第 65 代会長 石毛 充 ◇副会長 高瀬幸雄 ◇幹事 須永清彦

今週のプログラム

「人が紡ぐ伝統芸能」 金島 弘会員

前回例会報告 (3 月 2 日)

点 鐘：石毛 充会長

国歌君が代斉唱 ロータリーソング：奉仕の理想

四つのテスト唱和

ビジター紹介：

米山奨学生 バンダーナヤ ショハン マルウィンダヤ様

会長挨拶

皆さんこんにちは。3 月に入り少し強まった太陽の光を感じ、春がそこまで来ている兆しに心が躍りますね。

さて、明日は女の子の健やかな成長を願う「ひな祭り」です。春の楽しいイベントの一つですが、時代とともに意味合いや行事が変化してきた気がいたします。ひな祭りは、もともとは災い除けとして行われたお祭りです。旧暦の 3 月 3 日は三が重なり厄災の日と考えられ、その厄を、紙で作った人形(ひとがた)を身代わりとして川に流すことで逃れる、というものです。流し雛を行う風習が残っている所もあり、現在のように雛人形を飾って祝うようになったのは江戸時代とされます。皆さんの中にも可愛い女の子のお孫さんがいらっしゃることでしょ。

まだ終わりの見えないコロナ禍の中ですが、健やかな成長と健康を願いお祝いしたいですね。また、3 月 3 日は「耳の日」でもあります。数字の 3 が耳の形に似ている事と 33(みみ)の語呂合わせから、昭和 31 年に制定された記念日です。身の回りのあらゆる音は耳から入り、その信号が脳に送られることで様々な情報を得ることができます。声や音楽、物音、自然界のさまざまな音…。耳に心地よい音も、耳ざわりに聞こえる音もあるでしょう。人によって感じ方に違いがあります。同じ音でも感じ方が違うのは、脳がその音をどう判断するかによって分かれるからです。聞こえ方は同じでも、聞き方によって受け止め方が変わるということですね。「耳の日」をきっかけに、これからは聞く時の心の姿勢

を考えてみようと思います。妻からの小言が(難しいとは思いますが)耳に心地よい音だなあと感じられるよう努力してみたいと思います。

第 9 回定例理事会報告

- 1) 3 月 4 月 5 月プログラムの件 …承認
- 2) クラブ協議会の件 …承認
- 3/16 開催中止 五大奉仕委員長中間報告とする
- 3) 第 8 グループ合同会員基盤向上セミナーの件 …承認 3/13(日)オンライン開催
- 4) 梶原 G 年度クラブ・個人表彰等候補推薦の件 …承認

幹事報告

【週報拝受】銚子東 RC

1. 3/5「ロータリー学友と繋がるセミナー」ご参加のお願いとオンライン開催に変更のご案内
2. RLI パート II オンライン開催のご案内
3. 戦略計画委員会よりアンケートご協力をお願い
4. フェローシップ・親睦活動委員会よりご案内
5. 財団室 NEWS 2022 年 3 月号
6. 2022 年 3 月ロータリーレート 1 ドル = 116 円
7. 地区 RAC 年次大会のご案内
8. バギオだより第 89 号
9. 友事務所 3 月運営の件(ご確認)
10. 米山梅吉記念館研修旅行のご案内 …ガバナー事務所
11. 創立 70 周年記念誌拝受 …千葉 RC
12. 会員基盤向上セミナーオンライン開催のご案内 …第 8 グループガバナー補佐 神崎薫様
13. カウンセラー所見・奨学金受領確認書提出の件
14. 終了奨学生の連絡先 WEB 登録について(ご案内とお願い) …公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
15. ロータリーの友購読料改定のお知らせ
16. 次年度雑誌委員長への友誌送付について

2021-2022 年度 シェカール・メータ R I 会長テーマ
SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2790 地区ガバナー 梶原 等 (千葉 RC)
地区スローガン Love Other Spirit
～繋ごう次世代へ 夢ある未来に向けて～

製作◇広報・会報委員会 多部田恵子 廣瀬修一 大岩將道 宮内秀章◇

- …一般社団法人ロータリーの友事務所
 17. うみなり第63号
 …銚子地区保護司会
 18. 令和3年度第2回理事会の結果について
 …千葉科学大学おうえん協議会
 19. 3/13 開催オンライン茶話会サロンについて
 …銚子市国際交流協会

【例会変更】

小見川 RC
 3月9日(水)休会 定款第7条第1 節(d)
 →13日(日)会員基盤向上セミナーへ移動例会
 3月23日(水)休会 定款第7条第1 節(d)により

会員の記念日

お誕生日おめでとございます！

飯島 良春会員(3月1日)



入会記念日 淵岡 彰介会員(2月21日)
 伊藤 浩一会員(2月23日)
 創業記念日 小田島國博会員(2月21日)
 五十嵐 亘会員(3月1日)

ニコニコBOX

◇大ニコニコ 木曾 功会員



古稀のお祝い有難うございました。

卓 話

「誰のために何のために」 佐藤 直子会員



今年度、**職業奉仕委員長**を拝命しておりますが、今期の例会では、「**職業奉仕**」を皆様と語る機会がなかなか作れなかったことも踏まえて、

自分が感じてきた**職業奉仕**のことをお話させて頂ければと思います。ロータリーの目的は、**意義ある職業の基礎**として「**奉仕の理念**」を**推奨**し、これを育むことにある。とあります。具体的には…

- 第1.** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とする。
第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はす

べて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推奨すること。…と。

しかしながら…普段からこれらのロータリーの目標を掲げながら**生活者としての毎日**を過ごしている人は本当にいるのでしょうか？…という単純な疑問が頭をよぎります。

まずは、自分の就いている職業を考えた時に、一番しっくりいくのは…「**ロータリアンの行動規範**」のなかにある「**自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める**」…という項目は、少なくとも私にとっては一番、取っ付き易く理解し易い言葉です。

それは、自分の仕事は、多くの人との**直接的な関わり**の中でしか成り立たない仕事であり、また**他人の生活様式やその人の人生の一部にも影響を及ぼす職業**であるということ、一般的に言われるところの倫理観や道義的な良し悪しを判断しながら関わることが求められていると常に感じてきたからです。**職業倫理**と言ってしまえば簡単なのですが、この(上記の)**行動規範**は自らが誇りをもって仕事をするうえで**不可欠な**ことと思ってきました。そう思えることは…多分**幼い頃からの自分の生活環境**の中で生まれてきたものがあると言えるかも知れません。気が付いた時には…**私は患者さんたちと生活をしていました**。えっ？と思われる方もいるかと思いますが…**生活の一部に常に患者さんがいた**のです。何を言っているのか…と云いますと、入院している患者さんと自分たちのプライベート空間がはっきりしていなかったとも言えます。今では考えられないかも知れませんが…そんな環境の中で、私たち子どもたちは、**遊んでくれる患者さんのお部屋には普通に出入り入ったりしていました**。勿論、親の目を盗んで…だったかも知れません。

時に、お天気の良い日などには物干し台に一緒に行って鳩小屋の掃除をしたり、日向ぼっこをしながら怖い話や他愛もない話をしたり(この患者さんは**石津さん**)、また、夏休みの宿題の工作を手伝って貰ったり、戦争の話をして貰ったりと(この患者さんは**岸本さん**)…兎に角、**患者さんという大人の中で育った**ということが、その後も患者さんという…ある種の特別な垣根…**みたいなものはあまり感じないで来たように**思います。小学生まではそんな生活が普通でしたが…中学生、高校生くらいになると、**流石に、そんなことも無くなり、徐々に患者さんとの距離は常識的なもの**となっていきました。

ただ…先程の**岸本さん**…白髪のきれいなとても上品なお爺さんでした。この岸本さんは、確か、身寄りの

ない方だったと記憶しています。何年入院していらしたのか分かりませんが・・・結果、亡くなるまでうちに居たのだと思います。子供の工作を手伝うだけではなく・・・病院の周りの掃き掃除や植木の手入れなどもしてくれていた姿を見かけていました。このことを思うと・・・何となくですが・・・父が最期までうちに居て貰ったのだと思います。つまり具合が良くなってもそのまま退院することなく最期までいらしたのです。いつ亡くなったのか記憶は定かではないのですが・・・岸本さんが亡くなったよ・・・という言葉は聞いた憶えがあります。

私は父たちが特別養護老人ホームを建てたいので、手伝って欲しいと言われ、昭和61年に銚子に戻って参りました。その時・・・何故、そういう施設を創るのかと尋ねたところ・・・「治療が終わっても帰るところのない人がいるんだよ」「そんな人の住む場所が必要なんだよ」と言った父の言葉は今でもハッキリ憶えています。

これは後付けで私が思ったことではありますが・・・あの岸本さんのように、現実の厳しさや悲しみを抱えながら**帰るところのない患者さん**が沢山いたのだと思います。そのために父は、「帰れるところを創ろう」としていたのかも知れません。⇒(特別なニーズを抱える人々を助け)こういうことは・・・今でも現実にあります。介護保険が出来てからは大分サービス提供の質を問われるようになっては来ましたが・・・不幸にも未だに帰れる家がない人、家はあっても一人暮らし又は介護放棄などで孤独死をしていく高齢者もいるということを忘れてはならないと思います。このようなニーズの全てに対応していくことは難しいかもしれませんが、色々なケースに遭遇する度に、私たちは少しでも**その方を助けることの出来る手段**を考え続けます。

またこれは、この**3~4年くらい前**に、ご本人から直接お聞きした話であります・・・その方が高校生くらいの時、精神的にとっても落ち込み、厭世的になったとき、父に診てもらったことがあるそうです。その時、数ヶ月間、特に治療という治療はないまま病院に置いて貰ったというエピソードを私に話してくれました。

やることのないその青年は、父に「駐車場から車を持ってきて・・・」と鍵を渡され、自宅の駐車場から車を動かしたこともある。と言っていました。**これって今では時効ですよ(笑)**その後・・・その青年はどうなったか・・・途中経過は詳しくは尋ねませんでしたが・・・ある町の町会議員に立候補し、何期か続けた後、町長になり、長期に及び就任し続けた・・・ということです。しかし、50年も60年も前のことを話してくれたことは、その方にとってはそれだけ印象深く、そしてその時の青年にとっては救われた気持ちになったのかも知れませんね。⇒(若い人びとを導き)

これを今の自分に置き換えてみると・・・職員教育を通じ、少しでも若い職員がこの職業について、**やりがいと希望**を見出して欲しいという思いがあります。誰でもが行く道を如何に**自分たちの手で豊かにできるか**、そして、介護を通して、自分自身の成長にも繋げていくことが出来るということを理解して、**自分の人生をも豊か**

にして欲しいと願っています。

さらには・・・父たちが何故この銚子の地に開業したのかその詳細は分かりませんが・・・当初、父は「**神経内科**」という看板を掲げていました。**専門分野を強調した**のですが、耳慣れない人たちからはよく「**精神科?**」と言われました。子供の私にも「精神科」「精神科」と悪たれをつく同級生がいましたが・・・特に私は意に介しませんでした。ここではリウマチや神経痛など長年治療を要する患者さんが多いのですが、その中でも印象に残る患者さんがいらっしやいました。その方は八街からはるばる通院していた方です。今でこそ、八街と聞いてもそう驚くことでもないのですが、40年通ったと聞くとちょっと驚きますよね。子供の頃から、そして私が薬剤師になってお薬をお渡しするようになってからも通院されていました。

私が、まだ小学生だったころ・・・その方が往診を依頼されたのですが・・・夜、子供たちには寝るように伝え、砂利道の国道126号を母の運転で往復4時間かけて往診に行ったことを聞きました。砂利道の運転をした後には、震える手で注射を打つことになるのを避けるため母が運転したのだと思います。⇒(地域社会の人びとの生活の質を高めるため)

そんな環境に育った私にとっては、こうした親たちの世代が担ってきた良いところを、現代に置き換えてさらに良くしていくことが大事だと思っていますし、親の背中を見ながら、どこか**擦り込みされた感性**が残っているように思います。ですから・・・仕事をする際の自身の心持は、いつでも「**誰のために**」そして「**何のために**」やるのかを考えるのが自然なのです。仕事で言うと・・・少しでも**残りの人生の質を高める**ためのお手伝いをするのが私たちの使命であると思っています。利用者様のみならず家族の方々も安心して預けることの施設でありたいのは勿論のこと、そのことによって、みんなが安心安全に毎日を過ごすことで**自身の生活を豊かに**、そしてその質を高めることが出来るのなら・・・私たちにとっては至上の喜びです。

誤解を恐れずに、敢えて言うならば・・・**何かのルールに囚われ過ぎることなく**、だからと言って**意味のある言葉を形骸化することなく**、自分の感性や直観力を磨いて、そしてそれを信じることの出来る自分になっていきたいと思うばかりです。「**道徳なき経済は犯罪である**」「**経済なき道徳は寝言である**」二宮尊徳のこの言葉は私が仕事をする上での理念ともなっています。

ですから・・・「**職業奉仕**」というロータリーの**独特の言葉**は、私が一番好きで理解し易い言葉なのですが・・・一番大事なことは、**その概念ばかりに気を取られることなく・・・実践から得た経験や失敗をも成長の糧として**、より良い職業人として、これからも前向きに頑張っていこうと思います。ご清聴ありがとうございました。

委員会報告 大里クラブ研修・情報委員長
ロータリーの友3月号読みどころ紹介

＝ご挨拶＝

2020-22 学年度米山奨学生

バンダーラナーヤカ ショーハン マルウィンダヤスさん



米山奨学生になってから2年間、世話クラブは銚子ロータリークラブで大変お世話になりました。カウンセラーは銚子通運株式会社代表取締役、大里忠弘さんでした。米山奨学生になったことで皆の前で話すことや人との交流することや理解能力が大きく変わっていると感じます。

1年目のとき例会で皆の前で話すことがとても緊張しましたが世話クラブの皆様はいつも“今日の近況報告を楽しみにしています”“良くできたよ”“頑張ってるね”“いつも家族のように励ましてくれたので今の自分は毎月の例会に出席してカウンセラーとクラブの皆様と話すことがとても嬉しかったです。大里忠弘カウンセラーは私のお父さん見たいに私の面倒をいつも優しくみてくれました。この2年間で日本社会や日本文化に関することをたくさん学びました。来月から社会人として生きて行く中それをとても役に立つと思います。新型コロナウイルスの影響でアルバイトも出来なくなって収入が大幅に減って日本での生活がとても大変になったけど、奨学金を頂いたお陰で乗り越えることができました。安心して大学の研究や就職活動に集中することが出来たのでロータリアンの皆様から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。米山奨学生になったことはとても嬉しく感じております。米山奨学生で過ごしたこの2年間は今月で終わっても銚子ロータリークラブやカウンセラーとの繋がりはずっと続けると思います。私も将来いつか皆さん見たいにロータリアンになってみんなのためになる立派な人間になりたいと強く思っています。

【3月6～7日 卒業記念旅行～】



金島会員・大里カウンセラーと



福島県
大内宿



那須どうぶつ王国

【出席報告】

会員総数 39名 出席計算 37名 出席 29名
欠席 8名 出席率 78.38%
欠席者：馬場君・淵岡君・廣瀬君・木曾君
村田君・吉原君・鈴木君・高橋宏明君

【M U】 なし

【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥14,000	計	¥302,000
スモールコイン	¥ —	計	¥ 26,470
米山 BOX	¥ 2,700	計	¥ 26,435
希望の風	¥28,000	計	¥159,450

次週（3月16日）プログラム
「五大奉仕委員長 中間報告」

お弁当：膳（幕の内）

【私の一言】 佐藤 直子会員

＝いのちのバトン＝

ぼくははじめて海というものを見た。
こんなに大きくて広い世界があるんだ！
なんだかこわい。ちょっとビクビクしている。
でも・・・パパと手をつないでいると・・・
ふしぎだけどこわくはない。
ぼくにとってのはじめては、これから
いっぱいいっぱいあるけど・・・
パパやママと手をつなぎながら
パパやママも見てきた
たくさんのはじめてに出会っていくんだね。
(りんたろう 1歳8か月の夏)

